

# 新庁舎の基本設計がまとまりました

## 「まほろばの原風景」に調和する庁舎 ～町民が集い、協働し、交流するみんなの庁舎づくり～



外観イメージ図

高畠町では、令和2年11月に策定した「高畠町新庁舎建設基本計画」をもとに、安全・安心で誰もが利用しやすい経済的な庁舎の整備を目指し、基本設計を進めてきました。

新庁舎建設検討委員会や議会等でいただいたご意見を踏まえ、この度「高畠町新庁舎建設基本設計」をまとめましたので、その概要をお知らせいたします。(令和4年3月策定)

### 設計方針

新庁舎建設の基本理念である「**町民に寄り添った環境にやさしい、安全・安心な庁舎**」を実現するため、設計者が定めた設計方針は以下の5項目です。

#### ① 災害に強い防災庁舎

耐震性・防火性の確保や水害対策により災害時に機能継続し、迅速な防災連携が可能な庁舎とします。

#### ② 誰もが安心して利用できるバリアフリー庁舎

見通しが良く、段差のない、すべての方々にとって優しく使いやすい庁舎とします。

#### ③ 業務効率と町民サービス向上を促す庁舎

ユニバーサルレイアウトの執務室や、町民窓口をワンフロアに集約した利便性の高い庁舎とします。

#### ④ 高畠の自然の恵みを生かした省エネ庁舎

気候風土を活かしたパッシブデザインにより、ZEB Ready を達成し一次エネルギー消費量を50%削減する庁舎とします。

#### ⑤ 地場産材を活用した愛着のある庁舎

高畠町産杉板をはじめとする地場産材を活かした意匠により、温かみを感じる庁舎とします。

### 計画概要

■建築場所：山形県東置賜郡高畠町大字高畠436

■敷地面積：13,168.13㎡(暫定)

■規模：地上3階/塔屋1階

■構造：鉄筋コンクリート造  
一部鉄骨造

■建ぺい率：60%

■容積率：200%

■延床面積：庁舎 5,414.0㎡  
附属棟 130.0㎡  
キルビ 215.0㎡  
総合計 5,759.0㎡



1階執務室イメージ図

## 配置計画

### ■冬季の季節風に配慮したエントランス計画

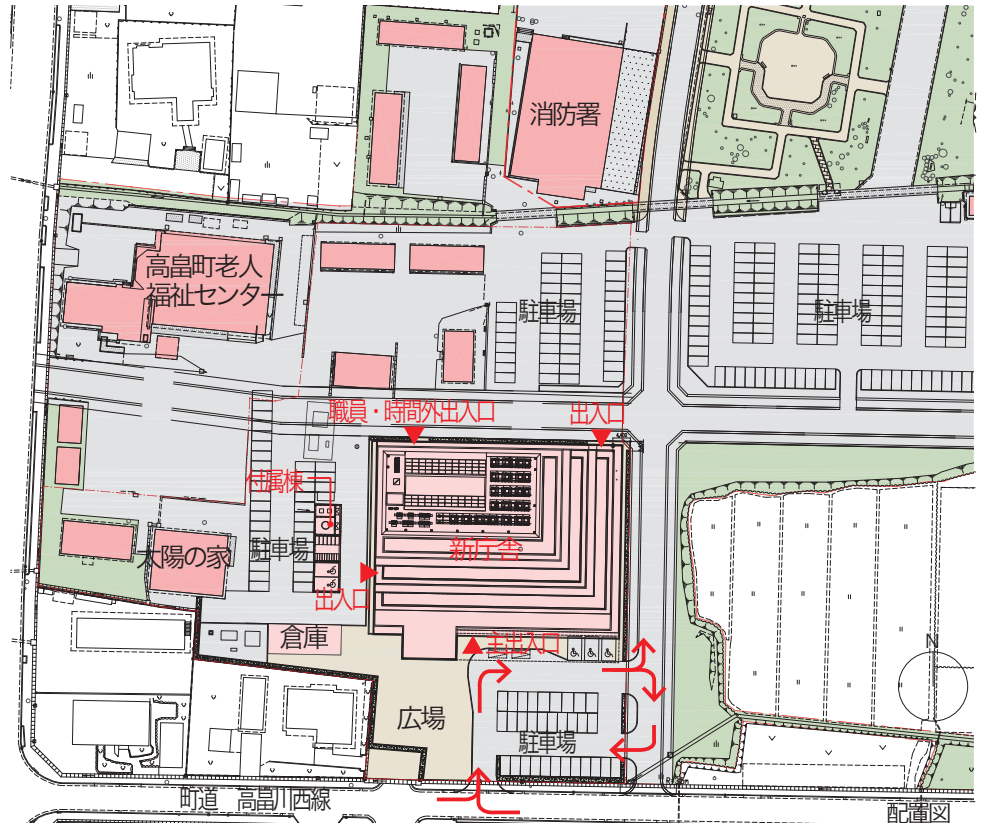
・冬季の西風に配慮し、建物をL型に配置とすることで、風の影響を受けない車寄せ計画とします。

・メインアプローチ部にキャノピーを設け、庁舎の庇と連結することで、冬期の利用者の利便性・安全性を向上します。

### ■敷地の有効活用を図る配置計画

・建物をコンパクトな正形とし、敷地の有効活用を図ります。

・南面の広場はどまホールと連続したにぎわい空間を創出します。また冬期は堆雪スペースとし、スムーズな除雪を行うことができる計画とします。



## 断面計画

- ・1階には町民利用の多い執務室を配置し、2階に執務室や執行部エリア、3階に議会を配置する計画とします。
- ・自然採光、自然通風などの自然エネルギーを取り込むことのできる断面計画とします。
- ・機械電気設備は高効率機器、自動制御、LED照明等を採用し、省エネルギーに配慮します。

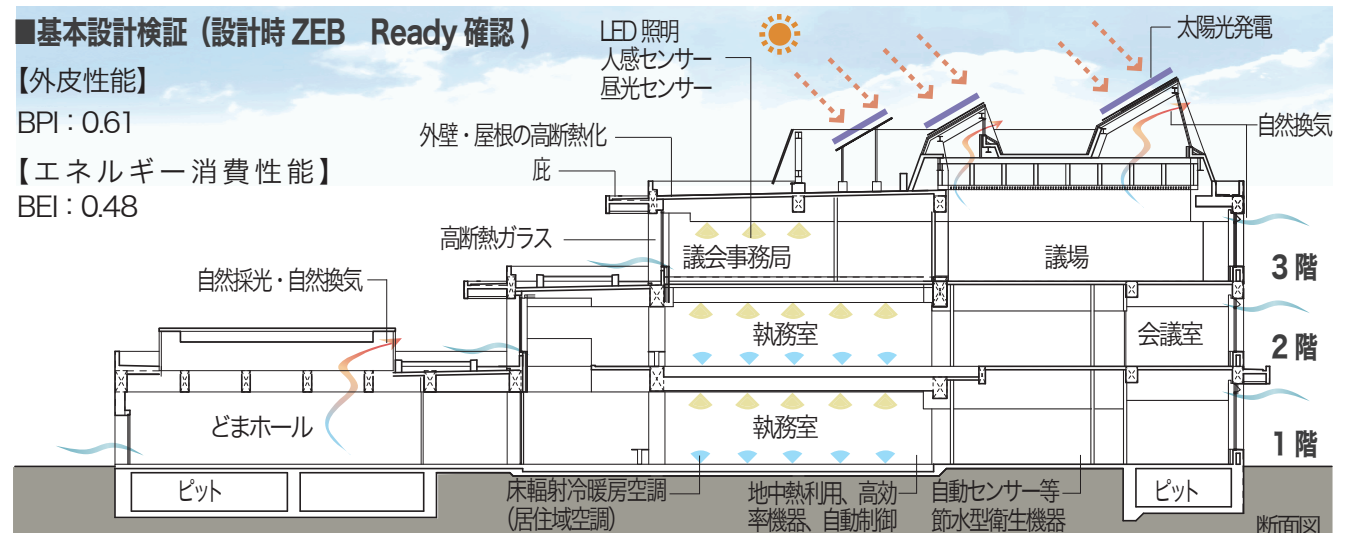
### ■基本設計検証（設計時 ZEB Ready 確認）

【外皮性能】

BPI : 0.61

【エネルギー消費性能】

BEI : 0.48

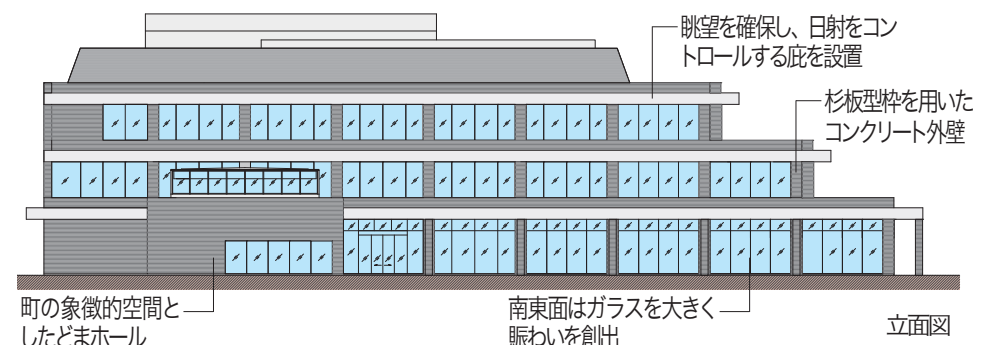


## 立面計画

・上層階に上がるにつれて外壁面ラインを後退させ、周辺への圧迫感を軽減する計画とします。

・南東面は庇と柱、ガラスを中心とした立面とし、市民活動や賑わいを創出します。

・地域性に配慮し、伝統建築に多く見られる水平ラインを通した意匠とします。



## 平面計画

### ■基本的考え方

- ・1階に町民窓口、2階に執行部エリアと執務室、3階を議場とする明快な階層構成とします。
- ・エレベーター・階段、トイレは建物西側に集約し、わかりやすいコア計画とします。
- ・1階待合には上部吹き抜けや階段を設け、視認性の高い計画とします。

### ■1階平面計画

- ・メインエントランスがある南側にどまホールや研修室等を配置します。庁舎機能と明確に区分することで、土日・祝日の町民開放に配慮します。
- ・執務室は約38m×約13mのオープンプラとし、見通しのよい空間とします。
- ・どまホールや研修室には移動間仕切りを設け、展示パネル利用やイベントによる分割利用を可能とします。






### ■2階平面計画

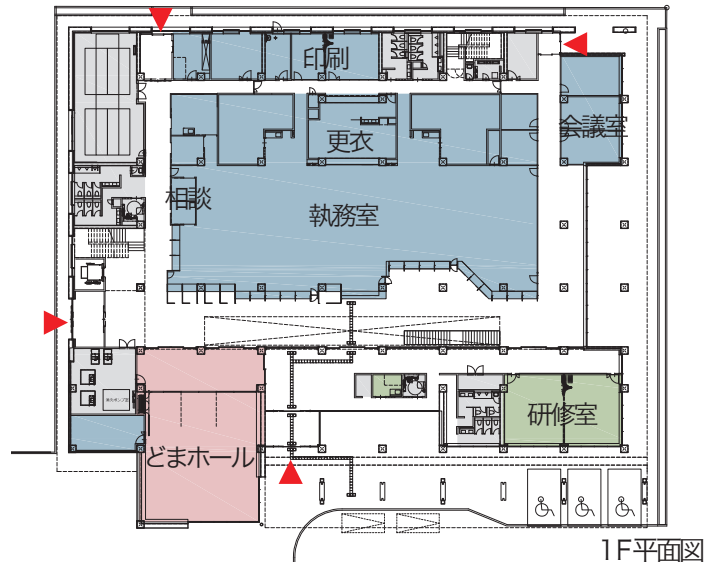
- ・執務室はオープンプラとし、執務室の西側に相談室、北側に会議室を集約設置します。
- ・災害時に災害対策本部となる庁議室、サーバー、防災無線室等は執行部エリアの直近にまとめて配置し、迅速・確実な指令系統を確立します。

### ■3階平面計画

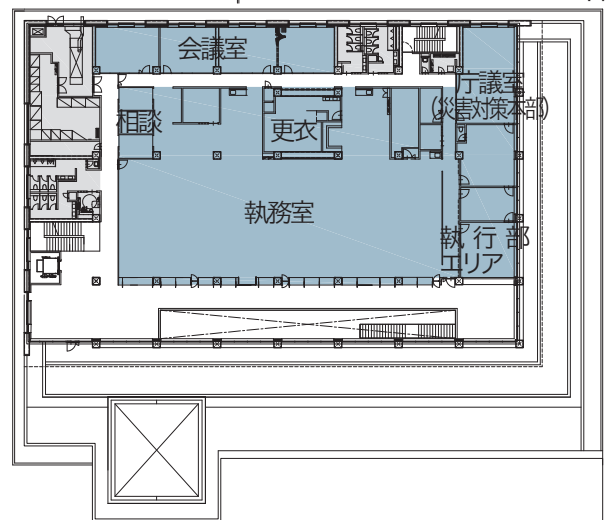
- ・議場は北側に配置し、議会関連諸室を採光の確保できる南側に配置します。
- ・北側に休憩室を設け、職員がリフレッシュできる空間をつくれます。

#### 凡例

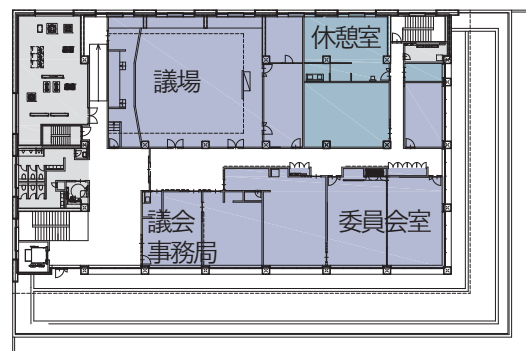
	：執務室		：どまホール
	：公民館		：議会
	：その他		



1F平面図



2F平面図



3F平面図



## バリアフリー計画

- ・ユニバーサルデザインの考え方に基づき、車いす利用者やベビーカー、シルバーカーの利用者などすべての人がわかりやすく利用しやすい施設を目指します。
- ・屋内外ともに、原則として段差の無い計画とします。
- ・各階には一般トイレのほか、車いす利用者等が利用しやすい多目的トイレ（オストメイト対応）を設置します。

## サイン計画

- ・来庁者にわかりやすく、快適に施設を利用できる計画とします。
- ・庁舎全体のサイン形状、色彩、書体、マーク等を統一感のあるデザインとします。
- ・高島町らしさを持たせたデザインとし、町民にとって親しみと愛着の持てる計画を行います。

## 構造計画

### ■基本方針

- ・本建物の構造計画は、庁舎にふさわしい機能性、安全性、居住性、および耐久性を備えた空間の実現と、経済性にも配慮した計画とします。
- ・災害時の防災拠点として、大地震時の人命保護や、躯体の損傷防止に配慮し、被災後の初動を迅速に行い、通常業務を継続すると共に、復旧活動を幅広く支援するための施設となることを目標とするため、構造体の重要度係数は 1.50 を採用します。

### ■構造概要

- ・構造種別 上部構造：鉄筋コンクリート造 基礎形式：杭基礎（既製コンクリート杭）

### ■架構計画

- ・空間自由度を高めるため執務部分はラーメン構造を採用し、地震時の変形は耐震壁で抑えます。
- ・耐震壁はバックスペースとなるエリアに配置し、見通しの良い執務スペースを確保します。
- ・西面と北面は扁平壁柱を採用し、セットバックによる偏心ねじれを改善します。
- ・ロングスパンとなる執務室上部は、プレストレストコンクリート梁を採用します。
- ・床吹き空調となる 2 階執務室範囲は梁無し一枚版床スラブで構成し、ダクト配置を容易にする計画とします。

## 電気設備計画

### ■省エネルギーに配慮した電気設備計画

- ・照明器具は LED 器具を採用し省エネ化を図ります。
- ・照明器具は集中管理を行うことにより、消し忘れを防止し節電を図ります。
- ・トイレ・書庫などは人感センサーによる制御とし、不使用時の消し忘れを防ぎます。
- ・変圧器は省エネ性に優れた油入変圧器（トップランナー変圧器 2014 対応モデル）を採用します。
- ・その他使用する機器、材料は効率機器を選定します。

### ■環境に配慮した電気設備計画

- ・電線ケーブルは、焼却時にダイオキシンを発生しないエコケーブルを使用します。

### ■維持管理に配慮した施設計画

- ・日常の保守メンテナンスが容易な設備計画として、将来の機器更新にも配慮した計画とします。

### ■事業継続計画（BCP 対応）

- ・非常用発電機は災害時を考慮し、72（3 日間）時間運転可能とします。（オイルタンクによる備蓄）
- ・災害時対応並びにピークカットとして再生可能エネルギーシステムの太陽光発電システムを採用します。

## 機械設備計画

### ■省エネルギーに配慮した機械設備計画

- ・冷暖房を行う居室は全熱交換器を設置して冷暖房の排熱回収を行います。
- ・冷暖房機器は ON/OFF を集中管理し、消し忘れによるエネルギーの無駄をなくします。
- ・小便器や手洗い器を自動センサータイプとし、水の使用量を低減させます。
- ・エネルギー使用状況が把握可能な BEMS、省エネ活動を啓発するエネルギー消費の見える化により、竣工後の庁舎運用の最適化が可能な中央監視・自動制御設備システムとします。

### ■災害時の業務継続性の高い機械設備計画

- ・インフラ途絶時にも災害活動拠点の機能を維持するために災害対策機能エリア、一時避難所を非常用電源により空調を稼働させます。
- ・災害対策職員・帰宅困難者に対応する水源として耐震・耐久性の高い受水槽（上水）を確保します。
- ・機械設備の耐震安全性を甲類とします。

### ■経済性・快適性・機能性に優れた機械設備計画

- ・機能とコストのバランスがとれた機器を選定します。
- ・バリアフリーに配慮した衛生器具を採用します。
- ・町民が利用する 1 階、2 階執務室エリアは床輻射冷暖房により居住域の快適性に配慮します。
- ・高島の地域特性の季節風の特徴を生かし自然通風、ナイトページを計画します。